

10 万人が来場！『Cool Japan Festival 2013』 ～インド最大規模の日本の見本市開催～

シンガポール事務所

3 月 15 日（金）から 17 日（日）までインド最大の都市ムンバイで、日本の文化、コンテンツ、消費財、観光旅行などを PR する日本の見本市 Cool Japan Festival 2013 が開催されました。今回は 2012 年に続き 2 回目の開催です。15 の企業・団体が出展し、延べ 10 万人の来場者がありました。このイベントに参加して、訪日旅行の PR を行いましたので、その概要を報告します。

・「Cool Japan Festival 2013」とは

このイベントは、2012 年に経済産業省のクールジャパン事業の 1 つとして初めて開催されました。インドで日本をまるごと体験できるイベントとして約 6 万人が参加しました。

2 回目となる本年は、日本の伝統、食、アニメコンテンツ、日本が誇る技術力、訪日観光の魅力などを紹介する 15 の企業・団体が出展しました。会場内に設けられたステージでは、和太鼓の演奏、インド人初の演歌歌手によるライブステージ、コスプレコンテストなどが、昼 1 時から夜 10 時まで途切れることなく行われました。さらにフードコーナーでは寿司、焼き鳥、お好み焼き、天ぷらなどが販売され、それらを求める長蛇の列ができました。3 日間で約 10 万人の来場者がありました。



【会場の様子】

・インド最大の都市ムンバイ

ムンバイは、人口約 1,250 万人のインド最大の都市です。1995 年までボンベイ（良い港）と呼ばれていました。



【ステージのパフォーマンス】

会場となった High Street Phoenix はムンバイの富裕層、中間層が集まるムンバイ最大のショッピングモールです。外資系のテナントや海外の商品を販売する店舗が数多くあり、週末には家族連れやカップルなど 1 万人以上が訪れます。インドのトレンド発信拠点です。そのショッピングモールの中庭で Cool Japan Festival 2013 が開催されました。

Cool Japan Festival 2013 の概要

会 期	2013 年 3 月 15 日 (金) ~17 日 (日)
会 場	High Street Phoenix, Senapati Bapat Marg, Lower Parel, Mumbai
主 催	(株)LA DITTA、Maido Enterprises Pvt Ltd
後 援	在ムンバイ日本国総領事館、(財)自治体国際化協会 他
協 力	経済産業省、JETRO シンガポール、JETRO ムンバイ、インド日本商工会 他
入場料	無 料
入場者数	延べ 101,381 名

・ヒヤリングでわかったインドの特徴

私たちは今回初めて単独でインドに出展しました。クレアのブースを設置して、来場者からの問い合わせに対応しました。日本への旅行を検討しているインドの人たちにはどのようなニーズがあるのか、日本に旅行する際に何が心配なのか等、来場者からヒヤリングしました。

来場者からの問い合わせが多かったのは、東京、京都、大阪といったゴールデンルートでした。訪日観光の定番コースとして、インドでも人気があります。

一方、他の地域では見られないインドの特徴として、広島に対する関心が高いことがありました。不思議に思って、ある来場者に聞いたところ、インドでは広島は世界で初めて原子爆弾の被害にあった都市として学校で習ったとの話がありました。また、日本ではあまり知ら



【炎天下で対応するクレア職員】

れていませんが、インドの国会では 8 月 6 日が会期中にあたった場合、広島・長崎の原子爆弾の犠牲者のために黙とうが行われているそうです。



【笑顔で対応するクレア職員】

もう一つのインドの特徴としては、ベジタリアンが多いことでした。「日本を旅行してベジタリアンフードを食べることができるか」という質問を多く受けました。日本には精進料理のように肉魚類を用いない料理もあるため、ベジタリアンフードについて簡単に考えがちです。しかし、インド人の要求するベジタリアンフードは非常に厳格です。例えば出汁、タレにわずかでも魚類由来のものが入ってはいけません。今後、日本でもハラル同様、ベジタリアンの観光客への対応を真剣に考える必要があると感じました。

この他に「日本は英語が通じるのか」という質問も多くありました。日本では英語があ

まり通じないという印象があるようです。訪日旅行を PR する際には、外国人が日本を訪れた際に英語で対応可能なことをアピールする必要があります。



【コスプレを楽しむインドの若者】

・まだ乏しい日本の情報

現地の旅行会社から入手した情報では、インドの富裕層の旅行先はヨーロッパ、中間層の旅行先は、東南アジア（タイ、マレーシア、シンガポール、香港）だそうです。インドでは一般の旅行者、旅行代理店も日本に関する知識が乏しいそうです。インド人の中では日本は高い国といったイメージがまだまだ根付いています。

漫画、アニメをはじめとする日本のポップカルチャーに親しみ、寿司、焼き鳥といった日本の食文化を身近に感じているインドからの訪日旅行客を増加させるためには、地方自治体等が中心となって訪日旅行に関するセミナーや PR 活動などを行う必要があると感じました。

・インド進出の契機に

インドは現在約 12 億 4 千万人の人口を抱え、数年後には中国を追い越して世界一の人口となるそうです。また、近年は実質経済成長率 6～8%と著しい経済成長を遂げています。

日本においても、成長著しいインドと経済的交流を深めていきたい地方自治体や進出を検討している企業が多くあると思います。しかし、その契機をなかなか見つけることができないのが現状だと思います。この Cool Japan Festival はインドと交流する契機の 1 つになると思います。もしインドに興味があれば、このイベントに参加してはいかがでしょうか。

(長濱調査役 埼玉県派遣)

【お問い合わせ先】：(株)LA DITTA

担当：和泉 TEL:03-6412-7221

●次回 「Cool Japan Festival 2014」開催予定

開催日程：2014年1月17日（金）～19日（日）

会場：ムンバイ High Street Phoenix